

議会だより やまもと

Vol. 194
令和3年11月1日発行

ゴールを目指して！
一ふし幼稚園 運動会一

第3回臨時会
会期 7月29日

第3回定例会
会期 8月31日
～9月16日

- 決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2～6
 特別委員会、総括質疑
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・P7～13
 議員 6 名
- 委員会報告・・・・・・・・・・・・・・P16
 閉会中の調査結果
- 審議結果・・・・・・・・・・・・・・P18
 定例会全議案等の結果

令和2年度決算 意見を付し「認定」

決算概要

一般会計及び4特別会計を合わせた歳入歳出決算額は、歳入総額200億4,761万円、歳出総額180億5,520万円となっています。

歳入歳出額ともに前年度比で増となっており、自然災害や新型コロナウイルス感染症により、復旧・感染関連費用が大幅に増大し、歳入歳出差引額は19億9,241万円の黒字決算となりました。

また、企業会計では水道事業会計6,879万円、下水道事業会計1億1,411万円の純利益となりました。

定例会概要

第3回定例会は、8月31日から9月16日までの17日間の日程で開催され、決算認定、補正予算、契約、人事案件など、20件を審議しました。

令和2年度の決算について、3人が総括質疑を行った後、決算審査特別委員会に付託され、5日間にわたり審議や現地調査を行い、意見を付し、全ての会計を認定しました。

また、その他の議案も原案どおり可決、同意しました。
一般質問では町政全般にわたり、6人の議員が町長と教育長に質問しました。

令和2年度 各会計決算一覧

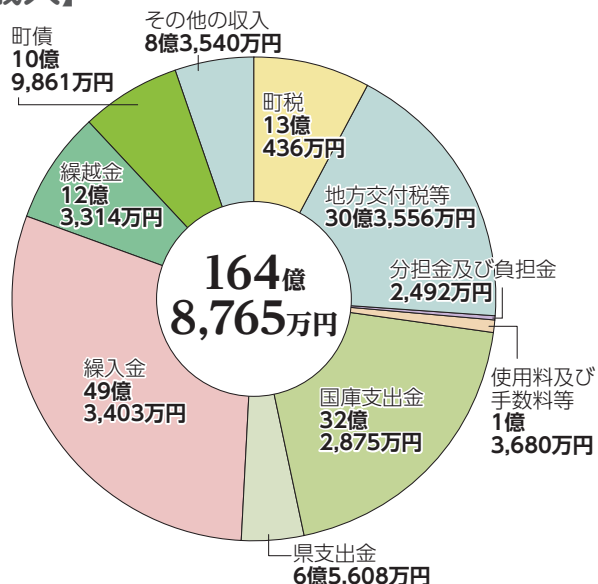
(単位：千円)

会 計 名	歳 入	歳 出
一 般 会 計	16,487,647	14,656,329
特 別 会 計		
国民健康保険事業	1,871,916	1,769,298
後期高齢者医療	177,309	175,367
介護保険事業	1,506,180	1,449,641
亘理地域介護認定審査会	4,558	4,558

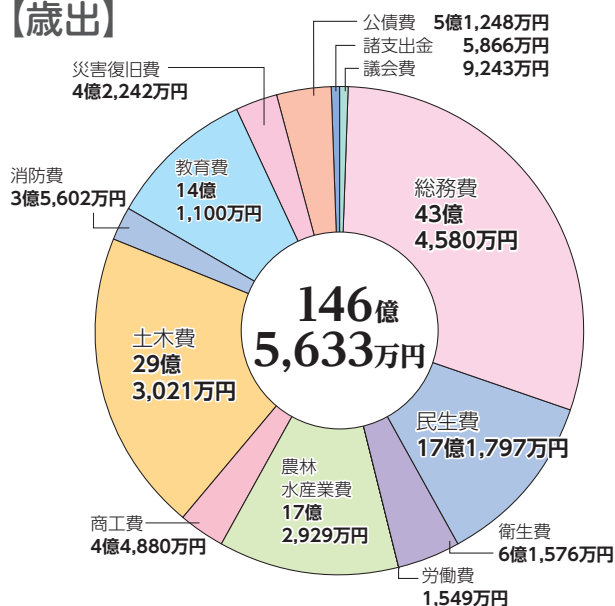
水道事業会計	収益的収入	465,384	収益的支出	390,306
	資本的収入	130,787	資本的支出	230,677
下水道事業会計	収益的収入	668,219	収益的支出	543,689
	資本的収入	354,057	資本的支出	613,176

一般会計決算内訳(グラフ)

【歳入】



【歳出】



目で見える決算

一般会計 主な事業

町民グラウンド
改修工事費



253,832千円

案内誘導看板
設置費
(避難施設等)



10,749千円

移住・定住支援補助
(新築32件他)



85,075千円

坂元小学校校舎改修工事費
(トイレ洋式化工事含む)



154,912千円

農水産物直売所
飲食施設建設工事費
(案内板設置を含む)



176,027千円

山元町地域経済回復支援
商品券配布事業
(コロナ禍による支援として、5,000円/1人)



67,916千円

令和2年度決算 成果は？ 効果は？

決算審査特別委員会 意見を付し「認定すべきもの」

令和2年度各種会計（7会計）は、9月7日に決算審査特別委員会（橋元伸一委員長）を設置し5日間にわたる審査を行いました。

また、9月16日の本会議で次の意見を付し認定しました。

意見

- 1 実態に即した予算を計上し、適正な執行をおこない、不用額を減らすよう努めるべきである。
- 2 復興公営住宅と既存町営住宅の今後の考え方を示し、建て替えや改修、統廃合に取り組むべきである。
- 3 快適な交通手段の確保、利便性の向上並びに地域の活性化に繋がるよう、地域公共交通を見直し早急に改善すべきである。
- 4 待機児童解消のため、早急に各種対策を講ずる必要がある。
- 5 職員が働きやすい職場環境の整備を図り、計画的な職員確保、適正な人事配置等に努めるべきである。
- 6 国民健康保険事業財政調整基金、および介護保険事業基金を有効活用し、被保険者の負担軽減を図るべきである。



委員長報告

◇予算編成
議員 不用額をどのように捉えているのか。
町長 多岐にわたる業務の執行に、限定された人数で対応せざるを得なく、不用額に影響がでている。
議員 20億円の不用額を別の事業計画に取り組むことができたのではないか。
町長 予算編成を大事にすることで襟を正していきたい。



決算審査特別委員会の様子

◆公共交通の運営
議員 これまで、年間4千万円を支出している町民バス事業については、年1回の会議のみである。委員会や組織を再編成し、町民の生の声を聞く考えはないか。
町長 趣旨は十分理解した。
議員 スクールバス、デマンドタクシーを含めて約1億円が支出されている。イベント時の送迎を含め、複合的・総合的な運用を考える必要があるのではないか。
町長 公共交通のあり方について、深めていく必要がある。

町長等への主な質疑



◇避難道路「新浜諏訪原線」の進捗
議員 工事の遅延、工事費増加の要因をどのように考えているのか。
町長 工事が進行する中での増工は避けられない。
議員 地盤沈下や排水の対策をしたが、役割を果たしているのか。
町長 状況に応じて設計変更しながら工事を進めている。



名生東住宅

◆町営住宅
議員 今後の住宅政策については。
町長 震災前から老朽化が進んでいる町営住宅の管理については、問題意識を持って取り組んでいる。他の施設同様、長寿命化計画に基づき、計画的な管理に努めていく。

◇待機児童対策
議員 これまでの取り組みをどのように評価しているか。
町長 解消までには至っておらず、限りなくゼロに近づく努力を継続したい。

議員 結果が出ていないのでは。
町長 引き続き対応できるような努力をしている。
議員 小規模保育所の取り組みやスタートが遅かったのではないかと。以前から委員会に取り上げて検討してきたはずである。

◆町民体育館
議員 調査費250万円を繰り越したが、早く結論を出して次のステップに移行できないのか。
町長 場面に応じて無駄のない執行を考える。
議員 町内のほとんどの体育館は、地震の影響で使用できない状況にある。町民が使える環境を、早く整えるべきである。

監査委員 決算審査意見（要旨）

※審査期間：7月12日～8月10日

令和2年度の各会計決算及び各種基金の運用状況は、いづれも適正であると認められた。

財政の各指数も健全エリア内となっているが、今後とも復興後の先を見据えた、慎重な財政運営に引き続き努めていただきたい。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地方経済の不透明感が増しており、町の自主財源である町税の減収が予想されるため、今後は各種事業の見直しや、自主財源の確保を検討し、より一層の健全な行財政運営に努めていただきたい。

また、地域の特性を生かしたビジネスを創出することで、地域経済の活性化を図り、住民が将来にわたり安全、安心に暮らすことのできる町づくりを目指し、取り組まれるよう強く望むものである。



監査委員 淀川 昭 阿部 均

菊地 康彦議員

基本方針どおりに執行されたか

町長 課題事業は見直し、着実に進める

議員 当初予算編成は「5つの基本方針」で取り組んだが、成果は。

町長 子育て事業は、これまで困難とした事業を展開し、きめ細やかなサービスを提供できた。移住定住事業においては、補助金の活用で多くの転入者があった。

議員 産業の振興として支援金を予算化したのが、生産者の考えと乖離（かいり）はなかったか。

課長 リンゴ防除薬の関係で、当初に想定した金額より少なく、残額がでてしまった。

議員 町側の聞き取りで十分な理解が足りなかったのでは。支援に

ずれが起きないように執行すべきである。

議員 数年にわたり、学校管理費等で不用額がでているが。

教育長 不用額はできるだけ出すべきではないが、再点検を行った結果なので、理解願う。

議員 学校を訪問すると、必要な部分に行き渡らない備品等がある。学校と連携を密にし、必要最低限の対応を図るべきでは。

教育長 学校と話し合いを持ち執行をしているが、さらに検討する。

岩佐 孝子議員

財政健全化を目指しての見通しは

町長 健全で持続可能な財政運営に努める

議員 税収の伸びない中で、町債が占める割合が増大しているが。

町長 29年度に過疎地域指定を受け、交付税措置などに条件の良い過疎対策事業債などの発行額の増加が要因である。

議員 自主財源である町民税、法人税は、コロナの影響で減収なのか。

課長 国全体の経済情勢に大きく左右されている。

議員 自主財源が減収する中、地方債の占める割合が増加している。償還計画、財政シミュレーションのローリングを示すべきでは。

課長 議会には示していないが、執行部の

中で管理している。

議員 歳入が少なくなっており、執行部だけの共通理解でよいのか。

町長 国のルールに基づき財政健全度合いをチェック、確認しているものと理解している。

議員 議会に対し、資料をきちんと提出し審議すべきである。事業遂行時における留意点は。

町長 マニフェストの実効性や重要性、緊急性を踏まえ、事業の重点化、選別化を図る。現状と課題に向き合い、総合的に勘案し必要に応じ計画の見直しや検討を重ね取り組んでいく。

遠藤 龍之議員

財政調整基金が大幅に増加

町長 東日本大地震の財政支援によるもの

議員 令和2年3月議会の町長提案説明の中で「現時点では、子ども数の推計及び町内の保育所、幼稚園の定員等から既存の保育所幼稚園での受け入れで対応することが可能であると見込まれることから、保育所は設置しない。」と断言している。しかし、9月には5人もの待機児童が生じている。整合のない話だが、どう考えているのか。

町長 予定の時期より遅れているのは、大変申し訳ない。

議員 国保会計決算の決算剰余金と財政調整基金が大幅に増えているが。

町長 保険税収入が税率改正と収納率の向上により、また東日本大地震に伴う財政支援が見込より増加したことが挙げられる。

議員 財政調整基金残高が計画にある2千万円をはるかに上回り、2億円を超えているが。

町長 もう少し精査する余地がなかったか、という反省もある。

議員 基金の有効活用で被保険者の負担軽減を求める。



令和3年 第3回臨時会

7月29日（木）に臨時会が開催され、報告2件、議案1件を審議しました。

○議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第10号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更） ※山元町役場構内駐車場等整備工事 4,578,200円増額	報 告
報告第11号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更） ※高瀬笠野線道路改良工事 448,800円増額	
議案第39号	令和3年度 旧山元町立坂元中学校災害復旧工事請負契約の締結について ※契約金額 60,610,000円	認 定



一般質問 我が町政を問う

- ◇高橋 眞理子 議員 P8
 - ・地域資源を最大限に活用した交流人口拡大と産業振興対策について
 - ・土砂災害対策、排水対策、及び洪水防止対策について
- ◇竹内 和彦 議員 P9
 - ・創造的復興について
 - ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ◇岩佐 秀一 議員 P10
 - ・移住・定住の促進について
 - ・震災後の基盤整備事業により整備された農地や非農地の活用について
- ◇伊藤 貞悦 議員 P11
 - ・安全・安心なまちづくりについて
 - ・次世代を担う子どもたちの感性や可能性を広げる取り組みについて
 - ・町民の望む各種サービスや環境整備について
- ◇岩佐 孝子 議員 P12
 - ・未来へつなぐまちづくりについて
- ◇遠藤 龍之 議員 P13
 - ・山元町財政について
 - ・繰越明許費の取扱い、対応について

一般質問とは
町の行財政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、
所信の表明を求めるもの

こちらから録画映像を見ることができます↓



災害防止に向け、安全安心の確保を

町長 防災意識啓発とハード整備に努める



たかはし まりこ 議員
高橋 真理子 議員

議員 土砂災害警戒区域や土取場の跡等の点検。パトロールは。
課長 土砂災害警戒区域は、県と町の合同で、約5年毎に現地調査やパトロールを行っている。土取場は、大雨災害時、道路に土砂の流出等がないか、分担し点検している。
議員 洪水防止対策に、国や県が勧めている、「田んぼダム」設置の考えは。
町長 まずは、既存施設の土砂・浚渫工事を実施した効果検証をし、災害防止対策に努めていく。

「そば」を町の新たな特産品に

町長 いろいろと検討していきたい

議員 年々、増加している耕作放棄地に、里山風景を広げるためにも、そばを作付けし、町の特産品とすべく、町民との協働で、製粉から加工までの取り組みを図る考えはないか。

町長 町の振興、活性化を図る上で、意欲のある方、あるいは、地権者のご理解を確保できれば、一石二鳥的な対応になると思う。何らかの形で支援し、いろいろと検討していきたい。

議員 22年前の本町の「田園空間博物館事業」は、町民との協働で、様々な地域遺産や資源を発掘し、これらを次世代に継承しようとする取り組みだったので、国からも高い評価を得た。どんな形ででも残すべきでは。

町長 大震災で被災した、旧やまもと夢いちごの郷及び田園空間博物館総合案内所笠野学堂等を複合的に再現したのが、今の「やまもと夢いちごの郷」で、総合案内所機能も持たせた。町の歴史や文化、地域資源や観光情報などの発信も心がけている。根底に流れる、先人の培った歴史、文化、風土を大事に、時代に合った町づくりを継承していく。

議員 町の一大イベントだった磯浜漁港のホッキ祭りの再開は。
町長 町内外の方が、楽しみにしていることはわかるが、開催に向け、以前のような規模内容では、体制的に整わない部分があり、困難な状況にある。
議員 コロナの収束後には是非、再開を望む。

町長 美しい景観形成なり、あるいは美味しい地元のそばの出荷に向けて、協働で取り組むことは、単にそばに限らず、期待される取り組みと思っている。
議員 震災後から、アップルライン沿いを始め、そばの作付面積が広がっている。アップルラインを、「アップルラインそば街道」と銘打ち、特産のリンゴとそばを目標の観光客の交流人口拡大を図っては。

議員 美しい景観形成なり、あるいは美味しい地元のそばの出荷に向けて、協働で取り組むことは、単にそばに限らず、期待される取り組みと思っている。
議員 震災後から、アップルライン沿いを始め、そばの作付面積が広がっている。アップルラインを、「アップルラインそば街道」と銘打ち、特産のリンゴとそばを目標の観光客の交流人口拡大を図っては。



美しいソバ畑（山寺地区）

産直施設は地域活性化に大きく貢献

町長 この流れをより確かなものに

議員 大規模農地整備事業の成果は。

町長 農業意欲のある経営体への農地集積が進み、大区画圃場に大型農機具を導入し、効率的で生産性の高い農業環境が整いつつある。

議員 これからの農業は単に作物を作ればいい時代ではなく、農業に観光を取り入れる、又は、6次産業化等、付加価値の高い農業経営への転換が必要だと思うが。



たけうち かずひこ
竹内 和彦 議員

町長 やまもとファームみらい野と夢いちごの郷でタイアップし観光イベント等の取り組みを行っている。また、町としても6次産業化について鋭意取り組んでいる。

議員 先進的農業へ果敢に挑戦してほしい。次にいちご農家の後継者の育成は。

町長 来年4月より、JA全農みやぎにおいて町内を拠点に、いちごトレイニングセンターが始まる。町と

してもJAと連携し、しっかりサポートしていく。

議員 交流拠点として夢いちごの郷の役割は大きい。年間売り上げは、目標を上回る3億2400万円で、公設民営としては成功事例と思う。夢いちごの郷により収入を得ている地域の人も多く、地域の活性化につながっている。

さらに、坂元の国道6号沿いの民有地を活用し、スポーツレクリエーション複合施設整備を含めれば、地域の活性化と地域の相乗効果が期待できるので

は。
町長 地域の貴重な資源である土地の活用は、坂元だけでなく町全体のにぎわい、活力、

活性化に大きく貢献する。

議員 交流人口拡大は、我が町の持続可能なまちづくりを進めるうえで、大変重要な課題である。ぜひ、前向きに検討し地域の活性化を図るべきと思う。



にぎわう産直施設

ワクチン接種の進捗状況は

町長 接種希望者への接種は最終段階

議員 デルタ株の感染力は強力で、いつ感染が拡大するか不安な日々が続いている。町長の認識は。

町長 デルタ株に置き換わったことにより、かつてない爆発的な感染を起こしている。まさに憂慮すべき状況にある。

議員 ワクチン接種の進捗状況は。

町長 高齢者の接種は9割以上終了し、12歳から18歳までの接種は最終段階まで来ている。今後、集団免疫獲得に向けて接種を推進していく。

未活用の町有地を移住・定住用地に

町長 有効活用が図られるよう検討する



いわさしゅういち 議員 岩佐 秀一

議員 町内にある「移住・定住」用地として活用できる、未活用が何力所ぐらいあるのか。

町長 元坂元中学校跡地や町民プール跡地を含め、6カ所で約3万3千㎡の面積である。

議員 人口減少が著しい坂元地区の改善策として、20数年活用していない元坂元中学校跡地は、面積も1万6千㎡と広く、上下水道が整備され、立地条件に恵まれている。「移住・定住用地」として最適であり、宅地として早急に検討する考えはないか。



町長 坂元地区においても新市街地を中心に、一定の宅地ニーズがあることを確認したところである。元坂元中学校跡地の利活用については、地域の方々の意見を聞きながら、坂元地区の活性化に向け新婚・子育て世帯を意識した宅地として、新たな居住環境を整備するなど、有効活用について鋭意検討していく。

議員 震災後の基盤整備事業により整備された農地や非農用地を、観光農園とする町独自の支援策を、講ずる考えはないか。

町長 事業完了後に観光農園として同意を得る必要があるが、現時点においては、観光農園エリアに指定することは困難な状態である。

議員 当町は、仙台市内から40km圏内にあり、震災後、交通インフラが特段に改善された。山側は常磐自動車道、中央は国道6号と常磐線、そして海側は亘理相馬線の開通により、県内でも最も交通インフラが整備されている。「やまもと夢いちごの郷」を基盤とし

整備された農地や

非農用地の活用を

町長 換地作業完了後に検討する

た観光農園を積極的に開発し、交流人口の拡大と産業振興を図る考えはないか。

町長 「いちご狩り」等ができる観光農園を、「やまもと夢いちごの郷」周辺のアクセス良好な同地区に誘致

することにより、交流人口の増加に加え、新規就農者や事業者参入による産業振興の相乗効果が期待される。意欲ある人に、優先的に土地利用が図られるよう施策を講じ検討していく。



非農用地の活用を

基幹産業である農業に保険金支援を

町長 本町の支援のあり方を検討する



議員 貞悦 伊藤

議員 わが町の基幹産業である農業の、「農業収入保険」加入者や希望者に町独自で保険金を支援する考えはないか。

町長 頻発する台風や豪雨等の被害が相次ぐ中、農業収入保険の有効性は認められてきている。農業分野以外にもセーフティネット制度があることから、その取り扱いには慎重に対応すべきと考えている。

議員 新聞報道や農業

共済のチラシにも掲載され、農業収入保険の存在感が大きくなってきた。わが町においても、今年度、法人が4、個人が33の37経営体が加入している。今後、検討する考えはないか。

町長 農業を基幹産業と位置付ける本町において支援のあり方を検討していく。

議員 新規加入者が増えていくわが町において、検討するとの回答だが、実現の可能性に



についての考えは。

町長 今の段階で可能性の回答はできない。今後、担当課を中心として積み上げをし、検討したい。

議員 早急に結論を出し対処すべきある。

役場庁舎のさらなる利用改善を

町長 窓口対応改善とサービスに努める

議員 窓口案内の対応改善のため、職員の向きを通路側に向けた配置にする考えは。

町長 執務室の配置については、職員を145人と設定し、開放的で効率的、フレキシブルな執務空間を目指してきた。これまでの取り組みが高く評価され受賞の栄に輝いている。

窓口案内の対応については、庁舎利用者に不便をかけている場面があることも認識している。課長会議において対応の改善を指示し、満足のいくサービス提供に努める。

議員 昼休みの窓口案内の際に、執務室の照明を点灯したままにはできないか。暗いと庁舎のイメージダウンにもなると考えるが。

町長 昼休みは休憩時間に当たることから、光熱水費の節減を図るうえでも消灯している。1階フロアは点灯



気軽に利用したいね

しており、2階は、消灯しても天窓により一定の明るさは確保できると考えている。

議員 職員の福利厚生や精神衛生面から、もっと休憩スペースの確保はできないか。

町長 福利厚生を含め、利活用について検討したい。

未来へつなぐ町づくりを

町長 計画的な事業を展開していく



いわさ たかこ 議員
岩佐 孝子

議員 震災から10年経過した。町づくりで重要なのは、不公平感を払拭することである。震災後、転出・危険区域内での再建者へ再支援をすべきではないか。

町長 復興基金を活用した支援策をきめ細かに実施した。

議員 被災した転出者へは、国から交付された引越し費用だけの支援。危険区域への差額を設定した理由は、

町長 議論を重ねてきた制度設計である。

議員 31年度には、丘通りの半壊以上の被災者へ復興基金活用や一般財源（町予算）で、一戸あたり20万円の支援を

した。危険区域内での差別をすべきではないと思うが。

町長 独自支援の考えはない。

議員 現在、財政調整基金は23億円ある。これを活用し町民を守ることや生活支援をし差別すべきではない。

町長 2月の福島県沖地震においては、県境・被災状況等とさまざまな状況を鑑みても差がでるのは、行政において一般的なか考え方である。

議員 災害救助法の基本理念である平等の原則から、交付金は被災者全体への支援である。福島県沖地震で、町から県などへ提出した要望書と矛盾しているのではないか。

町長 災害は時と場所を選ばない。2月の災害は県境をまたがっており、当町では切実な問題である。基本的部分での取り扱いが公平公正が基本である。

議員 危険区域に居住している住民も、町民税、固定資産税などを納税している。不公平感を払拭するため財政調整基金を取り崩し、町民の生活・命を守るため町独自の再支援策を求める。

議員 2月の地震被害により、歳出が増大するので5千万円を超える「茶室」を、実施設計業務の事業執行を停止したのだが、他に執行停止した事業はある。

町長 この事業だけである。



こころにも花を咲かせよう（みんなが集う牛橋区民会館）

議員 事業停止の意図は。

町長 地震被害規模が増大したことから、全体の中での判断である。

議員 他事業についての考えは。

町長 その時々状況を見据え、事業の進捗管理を図っていく。

議員 町長が掲げている複合施設等のマニフェストを強引に実行するのではなく、ちよつと立ち止まり、住民の声に耳と心を傾け、次代へ継承する事業を展開すべきである。

※財政調整基金とは
町の貯金のこと。財源不足になったとしても、財源を補えるように、自治体で、一定の金額を積み立てる基金。

経常収支比率から見た財政の現状は

町長 財政構造の硬直化が若干進行



えんどう たつゆき
遠藤 龍之 議員

議員 「町の税金を含む、お金の使い方不安を抱いている。」ということも聞こえてくる。経常収支比率の推移からみて、町財政の現状をどうみるか。

町長 この10年間の平均は93・1%で、財政構造の硬直化が震災前より若干進んでいるものと認識している。県内市町村との比で平均的な水準であるが、公債費の増加等から今後増加傾向となる。

議員 経常収支比率が

高くなると、どうなるのか。

町長 新たな事業予算の支出が狭くなってくる。

議員 新規事業への活用等、自由に使える財源が少なくなると受け止めた。維持管理費の推移と今後の見通しは。

町長 震災前の約3億5千万円と比較し、約3億3千万円増の約6億8千万円である。要因として、山下地域交流センター等の

施設の増加があげられ、今後、公共施設等総合管理計画の更新を進め、維持管理費の削減や平準化に取り組む。

議員 維持管理費が震災前の2倍になっているが、経常収支比率との関係でどう見ているのか。

課長 維持管理費が増えることで、経常収支比率にも影響する。

議員 経常収支比率が高くなり、財政硬直化の要因となる維持管理費が増える中、新規事業に充てられる財源は十分に確保できているか。

町長 財政シミュレーションをもとに財政運営をしてきた中で、対応可能なシミュレーションになっている。

会計年度独立の原則に抵触しないか

町長 県の指導に基づき対応 問題はない



議員 福島県沖を震源とする地震に伴う災害復旧事業の繰越明許費の取り扱い、対応は「会計年度独立の法則」に抵触するのではないか。

町長 県の指導に基づき対応しているので、問題はない。

議員 財源確保が絶対の条件であり、繰越財源なしに事業の繰り越しは認められない。繰越事業は財源に拘束される、という部分に抵触しないかという素朴な質問だが。

町長 県の指導に基づき対応しているので問題はない。

議員 問題の重大性や、どの程度の問題で

あったのが明確に示されていない。確認できているのは、町の損失が4700万円もの金額になっている問題である。それにも関わらず、町民や議会に対する説明が不十分であり、町の対応について問題があることを指摘しておく。

人事 (同意2号)

監査委員

齋藤忠裕氏 (横山区) を同意

任期：令和3年10月1日から令和7年9月30日まで



一般会計の主な内容

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金 2,717万円
- ・山元町水災・地震保険等加入促進事業 120万円
- ・農地賃貸借料一括前払費補助金 8,616万円
- ・谷地排水機場のポンプ改修事業 500万円



谷地排水機場 (中浜区)

補正予算

一般会計補正予算（議案第45号）は、地方交付税や決算に伴う繰越金、臨時財政対策債などの確定に伴う既定予算額との差額分をはじめ、国・県支出金の内示額等起因するものや、決算に伴う各種会計からの繰入金、指定寄付金収入等約1億7千万増額を可決しました。

令和3年度 各種会計補正予算一覧表

(議案第45・46・47・48・49・50号)

(単位：千円)

会計名	補正額 (9月)	合計額
一般会計	173,747	8,816,251
国民健康保険事業特別会計	14,630	1,872,245
後期高齢者医療特別会計	1,942	179,359
介護保険事業特別会計	44,648	1,528,511
水道事業会計	△3,871	609,658
下水道事業会計	391	1,112,724

意見書

(委員会提出議案第2号)

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実に求める意見書

可決

◆提出者

議会運営委員会

委員長 伊藤貞悦

◆提案理由

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、地方税や地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっていることから、令和4年度地方財政対策、及び地方税制改正に向け、地方税財源等を確実に確保されるよう、強く要望する。

◇提出先

- ・衆議院議長 ・参議院議長
- ・内閣総理大臣 ・財務大臣
- ・総務大臣 ・経済産業大臣
- ・内閣官房長官
- ・経済再生担当大臣

議案第43号 山元町過疎地域持続的発展計画



各種対策を総合的かつ計画的に実施するために必要な財政上の特別措置等を活用するとともに、地域の持続的発展を図り、もって人材の確保及び育成、雇用機会の拡充、住民福祉の向上、地域格差の是正等に寄与することを目的とする。

1 策定の根拠

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（以下「新措置法」という。）

2 新措置法で講じられている特別措置及び対象事業

○特別措置

過疎対策事業債による支援

（充当率100%、元利償還金の7割を交付税措置）

○対象事業

新過疎法の趣旨に沿い過疎地域持続的発展市町村計画に基づいて行う事業

3 計画期間

令和3年度から令和7年度まで(5年間)

4 計画の調整状況

「宮城県過疎地域持続的発展方針」との整合を図る必要があることから、県と協議を行い同意（令和3年8月20日）を得ている。



主な質疑

◆策定経緯

議員 議会に説明不足だったのでは。

町長 今回の過疎計画は2回目であり、見直しの対応の中で必要な説明をしている。

議員 パブリックコメントを周知徹底したと受け取れないが。

町長 総合計画策定の中でもパブリックコメントを実施して、相当の意見集約をしており、この計画はそういうものをベースにしている。

◆計画の内容

議員 この計画の位置付けは。

町長 総合計画、地方創生総合戦略、この過疎計画の三本立てで大きな柱になる。

議員 この計画に基づいて行う事業は何件あるか。

課長 90事業である。

議員 各年度の総事業費は。

課長 中期財政見通しでの大玉事業の中で、各年度の推計をしている。

議員 この計画期間の総額をどう想定しているのか。

町長 今後の財政シミュレーションの策定に委ねられる。

議員 長期的に、本当に持続的な、この町を残すという意気込みで取り組む計画でなければならぬのでは。

町長 予算、決算、財政シミュレーション等トータルの中で、町の財政運営を確認いただきたい。



次代になう子ども達へつなぐために

契約

（議案第44号）

名 称	金額（税込）	落札率	相手方	工期
社総交（復興）請3号頭無西牛橋線交差点改良工事	1億1,652万8,500円	88.99%	有限会社渋谷組（山元町）	令和4年3月28日

総務民生常任委員会

産建教育常任委員会

○公共交通

調査内容

「町民バスぐるりん号」・「デマンド型乗合タクシー」における利用状況の意向及び動向等について調査した。

意見

「町民バスぐるりん号」は利用しにくい運行状況となっており、住民ニーズに応えられていない。また、「デマンド型乗合タクシー」も午後の利用実績が少ないため、利用者の意見等を踏まえ、より充実した地域公共交通の確保に向け見直しを図るべきである。

●スポーツ・レクリエーション

複合施設整備事業

調査内容

整備調査・基本計画策定業務委託、及び事業全体のスケジュール等について調査した。

意見

土地確保の問題（購入または借地）、総事業費が明確にされないままの取組が問題である。また、事業の進行状況について、議会への報告



が少ないため、積極的な報告を求め、引き続き調査が必要である。

○待機児童対策

調査内容

推計児童数（0歳～2歳児）、施設利用見込み量、及び小規模保育事業の進捗状況について調査した。

意見

事業開設により待機児童対策の改善が図られると思われるが、解消に向け町の責任として引き続き取り組むべきである。

○地震災害復旧状況

調査内容

被害箇所及び災害復旧の進捗状況について道路、河川、農業施設の現地調査を実施した。

意見

現在実施している道路工事などについては町民の安全に十分注意すべきである。

●県営水道事業の民営化

調査内容

「みやぎ型管理運営方式」について調査をした。

意見

事業について民間業者への委託となるが、事業実施主体は県であることから、町への影響はないと思われる。今後も住民の不安を払拭していくよう努められたい。



○東部地区農地基盤整備事業と営農の進捗状況

調査内容

整備後の営農状況及び補完工事等の進捗状況について現地調査を実施した。

意見

整備後の土地において、条件や環境に差が見られ、不具合が生じる可能性が予想されることから、事業終了後においても県との協議も含め、十分な対応、対処を図られたい。

●学校教育

調査内容

学力向上、不登校、学校再編について、調査を実施した。

意見

・学力調査の結果については、全体的な学力向上へつなげるため、学校だけではなく、家庭や町にも開示することが必要と思われる。
・今後は学力重視だけではなく、子どもが伸び伸びと成長できる総合的指導も視野に入れる必要がある。
・小学校再編については、慎重に対応すべきである。

ALPS処理水の処分に関する説明会を実施

8月17日に開催した全員協議会において、東京電力ホールディングス(株)の関係者を招き、現在の福島第一原子力発電所の現状や政府の基本方針に基づくALPS処理水の処分に関する今後の対応についての説明会を実施しました。



概要

1 ALPS処理水の海洋放出に必要な設備の設計及び運用

政府方針の着実な実行のための計画を作成し、原子力規制委員会による認可の取得のための準備を進める。

2 環境モニタリング

これまでのセシウム137に加え、トリチウムについても重点的に測定・評価を行い、採取対象地点と分析頻度を強化する。



3 国際原子力機関 (IAEA) による安全性の確認

国内法令のみならず、国際法の観点等から確認・指導を適切に反映していく。

4 風評影響への対応、風評被害への対策

理解の醸成に向けた取組みや風評被害が生じた損害には迅速かつ適切に賠償する。

委員会の新メンバーが決定

(任期：令和3年11月13日～令和5年11月12日)

総務民生常任委員会

◎竹内 和彦 ○岩佐 秀一
伊藤 貞悦 高橋真理子
岩佐 孝子 高橋 建夫

産建教育常任委員会

◎遠藤 龍之 ○渡邊千恵美
橋元 伸一 大和 晴美
阿部 均 菊地 康彦

議会広報・広聴常任委員会

◎岩佐 秀一 ○菊地 康彦
渡邊千恵美 岩佐 孝子
高橋 建夫

議会運営委員会

◎伊藤 貞悦 ○大和 晴美
竹内 和彦 遠藤 龍之
菊地 康彦

◎ 委員長 ○副委員長

○令和3年 第3回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第12号	令和2年度決算山元町健全化判断比率について	報 告
報告第13号	令和2年度決算山元町公営企業資金不足比率について	
認定第1号	令和2年度山元町一般会計歳入歳出決算認定について 【P2-5に掲載】	認 定
認定第2号	令和2年度山元町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第3号	令和2年度山元町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第4号	令和2年度山元町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第5号	令和2年度巨理地域介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第6号	令和2年度山元町水道事業会計決算認定について	
認定第7号	令和2年度山元町下水道事業会計決算認定について	
議案第40号	山元町個人情報保護条例及び山元町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (全員賛成)
議案第41号	山元町損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の一部を改正する条例	
議案第43号	山元町過疎地域持続的発展計画について 【P15に掲載】	
議案第44号	令和2年度（繰）社総交（復興）請3号 頭無西牛橋線交差点改良工事請負契約の締結について【P14に掲載】	
議案第45号	令和3年度山元町一般会計補正予算（第3号）【P14に掲載】	
議案第46号	令和3年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第47号	令和3年度山元町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
議案第48号	令和3年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第49号	令和3年度山元町水道事業会計補正予算（第2号）	
議案第50号	令和3年度山元町下水道事業会計補正予算（第1号）	
同意第2号	監査委員の選任につき同意を求めることについて 【P14に掲載】	同 意
委発第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書 【P15に掲載】	可 決 (全員賛成)

※【議案第42号 山元町町営住宅基金条例の一部を改正する条例】については、「改正の必要性について詳細な説明を行い、改めて提案したい」との理由により撤回

○陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者等の氏名	結 果
陳情第6号	令和4年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い	公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	配布のみ

議員の会議等出欠状況

令和3年7月1日～9月30日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				伊藤貞悦	橋元伸一	岩佐秀一	大和晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内和彦	遠藤龍之	岩佐孝子	阿部均	菊地康彦	高橋建夫	岩佐哲也
7	2	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	7	水	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
			県知事への要望活動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	8	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	13	火	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	15	木	宮城県町村議会 議員講座	○	欠	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—
	16	金	宮城県町村議会 議員講座	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—
	20	火	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	21	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	26	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29	木	第3回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	火	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	5	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	17	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23	月	仙南・亶理地方町議会議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	26	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	27	金	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	第3回議会定例会（8/31・9/2・3・7・16）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	決算審査特別委員会（9/7・8・9・10・13・14）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—
	15	水	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
			産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	29	水	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	30	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長交際費

議会を代表し、外部との交際に要する経費です。交際費支出の適正化を図るため、支出に関する基準を定めて、その執行状況を公開しています。

区 分	7月		8月		9月	
	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容
その他	1,650	視察対応茶代	0	—	0	—
合 計	1,650		0	※支出なし	0	※支出なし



すぎです
やまもと



みんなの図書館（花釜区）



心のオアシスをめざして!!

代表 菊地慎一郎（会員30人）

被災した花釜地区に2013年2月に地域住民と『おもい・つむぎ財団』（足利市）などのボランティアによる手作りの小さな「図書館」がオープン。子どもや地域の方々が集まる場所、誰でもふらっと立ち寄り本が読め、地域のコミュニティーが再生されるきっかけを作りたいという思いから活動が始まりました。図書館には那須野ヶ原青年会議所や地域の方等からの寄贈による絵本・漫画や小説など約1万冊の本が所蔵しと並んでいます。図書館は鍵の開け閉め、掃除などの当番を決め自主運営され定休日はなく、朝8時から夕方5時まで開館し、幼児から高齢者まで幅広い年代の方が利用しています。今後も3・11鎮魂の夜や小さな絵画展などイベントを通し文化の発信をしていきます。

お知らせ

令和3年 議会報告会

11月13日（土）に予定していました議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止させていただきます。次回開催については決定次第お知らせいたします。

令和3年

第4回山元町議会定例会（予定）

会 期：12月3日（金）
～10日（金）

開 会：午前10時

本会議：12月3日・7日・8日・10日

（一般質問は、12月7日・8日です。）

ホームページをご覧ください



山元町議会

検索

編集デスク

9月末に県の「まん延防止等重点措置」が解除されましたが、引き続きマスク着用や換気の徹底、3密回避の対策は必要です。これまで、ワクチン接種に協力してくださった医療従事者や担当課等の皆様には心から感謝申し上げます。

議会におきましても研修会の制限、議会報告会の見合わせなど、例年通りの活動ができない状況でした。このような中でも広報委員は、「わかりやすい議会だより」の編集をめざして努力して参りました。

委員会編成により、次号からは、広報・広聴委員も新メンバーとなります。議会一丸となり、議会活動に取り組んで参りますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

（委員 大和 晴美）

委員長 岩佐 孝子
副委員長 高橋 眞理子
委員 伊藤 貞悦
委員 岩佐 秀一
委員 大和 晴美